

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		第8回新設小学校開校準備委員会
開催日時		令和8年7月22日（水）午後7時00分から 午後8時30分まで
開催場所		福津市役所別館1階大ホール
委員名		出席委員 西田 剛信 仲村 浩一 佐々木 美奈 亀川 貴史 奥之藺 斉美 中野 隆 塚本 義孝 細田 浩司 安河内 友美 梅野 邦彦 土器 修
所管課職員職氏名		新設小学校準備室長 波多野 哲平 新設小学校準備係長 鈴木 健夫 藤岡 太郎 新設小学校準備室 平 和英 高木 浩平
会 議	議 題 (内 容)	1. 委員長あいさつ 2. 報告事項 ・保護者説明会の報告 3. 協議事項 (1) 校章について (2) 校歌について (2) 通学路について 4. その他 ・今後の準備委員会について
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・会議次第 ・校章について ・校歌について ・通学路について
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法：委員長確認
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

冒頭に、亀川氏の委嘱状交付を行った。

1. 委員長あいさつ
（西田委育長が開会のあいさつを行った。）
2. 報告事項
（事務局が保護者説明会の様子や結果の報告を行った。）
3. 協議事項
（1）校章について

事務局 うえやま先生に作成いただいた校章案 2 案をもとに、デザイナーに 4 案デザイン案を作成してもらった。本日は、この 4 案の中から 1 案を決定していただきたい。①②のデザイン案のコンセプトは「宮司の豊かな自然」で、宮司の浜風で旗がなびいている様子や、下の 3 本線では、宮司の「海、風、波」を表している。M の字は「みやじのみ・みんなのみ・みらいのみ」という意味が込められている。③④のデザイン案のコンセプトは「宮司地区の地域の繋がりや融和、結束」で、「みやじ」のひらがな 3 文字をつなぎ合わせて記号化することで、宮司地区の小学校が分かるようになっており、子どもが指でなぞりたくなるような遊び心のあるデザインとなっている。また、大きな円は、太陽のように明るく、力強く育ってほしいという願いが込められている。

委員 ①か②のデザイン案が柔らかい雰囲気だよいと思う、個人的には①が校章として合っていると思う。

委員 広くみんなから愛される校章としては①か②が普遍的だと思う。まとまりがよりあるのは①だと思う。

委員 ③か④がうえやま先生らしい校章で、子どもがなぞりたくなる遊び心が含まれている点もよい。デザインのインパクトや名称の表記的にも個人的には④がよい。

委員 子どもに聞いたところ、④が宮司小ということが分かりやすく、デザインの的にもかっこいいとのことだった。

委員 色のまとまりや、はっきりとしたデザイン、他の一般的な校章と比較したところ、④がよいと思った。

委員 ①②のデザイン案が柔らかい印象でよいと思ったが、うえやま先生らしさが出ているデザインは④だと思う。

西田委員長 皆さんの意見を聞いたところ、④が多いが、④で決定してよいか。
（異議なし）

事務局 校章は④で進める。今後、デザイナーによる最終微修正を行い完成となる。

(2) 校歌について

事務局

校歌の曲について意見出しを行う。今回出していただいたご意見は作者である福留氏へお伝えし、次回の準備委員会までに完成版を作成していただく予定である。この曲のコンセプトは「これまでの校歌にはない未来をイメージした曲」で、宮司らしい地域の雰囲気表現し、未来へ向かって歩む子どもたちの姿をイメージして制作された。少し難しく感じる部分もあるが、高学年になるにつれて曲の良さが分かり、卒業するときには愛着を持って歌える校歌となることを目指している。

(校歌音源試聴)

委員

メロディーはとてもよいと思ったが、音程が難しい部分があり、低学年の子どもが歌うには難しいと感じた。

委員

半音の上がり下がりの部分が難しいと思った。小学生が伴奏できるのかも気になる。

委員

その難しい感じがこの曲のよいところだとも思った。

委員

歌っている声が子どもではないため、中々イメージができず難しい。

委員

難しい曲だからこそ、何度も歌っていくうちに上手くなっていき、子どもの成長を感じることが出来る曲だと思う。

委員

最初聴いた際は難しい曲だと思ったが、何度も聴いているうちにだんだん良さが分かり、好きになってきた。

委員

歌詞と曲の盛り上がり方がよく合っていると感じた。夢や希望、未来へ進むというイメージが音楽でうまく表現されていると思った。

西田委員長

これらの意見を福留氏にお伝えし、次回の準備委員会までに完成していただくということでよいか。

(異議なし)

(3) 通学路について

事務局

今回の変更点は2点。一つ目は、セブンイレブン付近の通学ルートについて。前回の委員会でご意見をいただき、現地で交通量調査を実施した。警察とも情報共有したが、この交差点については交通量自体は比較的少ないという結果であった。一方で、セブンイレブンへの出入り車両があるため、安全対策については引き続き検討を進める。現在、見守り隊の配置についても協議を行っている。二つ目は、交通安全対策地点⑮の見直しである。宮司地区見守り隊との協議の結果、水産高校生の自転車通学量が多く、自転車と歩行者双方の安全を考慮し、路側部を児童の歩行場所にするのは危険であり見直すこととなった。宮司消防会館と海心寺の間にある生活道路を通り、通学路に指定されている道を通って通学してもらう予定である。

委員

海心寺裏の生活道路はかなり狭く、軽自動車でも離合できないくらいなので、子どもたちが通るには少し心配である。

事務局

海心寺の北側に歩道がある。この道はここに住んでいる人の車が通るだ

	けで、奥は車が通ることができないようになっている。海心寺と消防会館の間の道が厳しいようであれば、中を通り、通学路として指定されている道に合流してもらう。
委員	海心寺の道は対向車が来たら離合はできない。どのくらいの児童がこの道を通るのか分からないが危険な場所ではある。また、海心寺の出会い頭の道は細く、車は通ることができなくなっているが、子どもが飛び出してくる恐れがあるため危険である。
事務局	今お話しいただいている道路は通学路ではないところではあるが、見守り隊の方を含め安全対策を進めていきたいと思う。
委員	海心寺の横に児童を通すのか、車が通ることができない細い道の方に児童を通すのかの二者択一であれば、海心寺の横の道の方が見通しがいいため安全であると思う。
委員長	セブンイレブン付近の通学ルートについて意見はないか。
委員	早くて2年後の話だが、西福間5区の子どもが津屋崎中学校に行く際に自転車通学になると思う。かなり多くの人数が、このセブンイレブン付近を自転車で通ることになるがその点を踏まえても安全であるということか。
事務局	見守り隊と協議行っているところであるが、自転車は原則左側通行になるため、海側を通行する。どこで左側に渡るかは、セブンイレブンの前か人が下りることができる階段から横断歩道で渡ってもらうかになると思うが、継続して審議していく。
委員	人道橋について、開校時は今のままでもよいが、将来的には拡幅を行う必要があると思う。また、梅雨時期にかなりの雨が降ったが、宮司小学校の駐車場の排水がよくないと感じたが大丈夫か。
事務局	現時点では駐車場はまだ完成しておらず、側溝から20センチメートルほど下がった状況である。工事が完成すれば、雨水も排水され調整池に流れるようになる。
委員長	他に通学路に関して意見はないか。ないのであれば、本日通学路は決定するか、次回もう一度協議するか。
事務局	本日お話しいただいた中では、通学路として指定しない部分がメインであった。次回に持ち越したとしても通学路の変更はない。見守り隊との協議や交通安全対策の実施状況については、引き続き報告を行う予定である。
委員長	通学路は次回に持ち越しても変更点はないとのことだが、本日通学路を決定してよいか。 (異議なし)
4. 今後の準備委員会について	
事務局	これまで校章・校歌・通学路を中心に協議していただいたが、今後は、学校の中身づくりについて委員の皆様からご意見をいただきたいと考えている。宮司小学校はコミュニティスクールとして開校する。学校だけではなく、地域や保護者とともに学校づくりを進める仕組みになる。次回以降は、「宮司らしい学校とはどのような学校か」「子どもたちにどのように育ってほしいか」「地域との連携をどのように進めるか」などについて協議をお願いしたいと思う。また、現在の開校準備委員会の皆

様には、学校運営協議会設立に向けた準備会としてもご協力をお願いしたい。令和 9 年 1 月頃を目途に学校運営協議会へ引き継いでいく予定である。

5. 次回開催日程について

第 9 回委員会の開催日は、後日決まり次第連絡することとなった。